

対象クラス	第2学年 生活デザイン科の選択者	単位数	2
使用教科書	『国語表現 改訂版』（大衆館書店）		
使用副教材	『国語表現基礎練習ノート』（大修館書店）		

「国語表現」とはこんな科目です。

- ・高等学校卒業後、上級学校（四大・短大・専門学校）への進学を希望するみなさんが対象です。
- ・「書くこと（小論文）」に重点を置きながら、語彙・語句・表現方法などの知識を習得します。
- ・より実践的な課題（上級学校の過去問題）も発展的に取り入れ、「伝える力」をより高めます。また、その成果を相対的に認識するため、外部模試にも挑戦します。

科目の到達目標（目標とする検定等）

- ・言葉や表現の問題を取り上げ、「表現」への関心を深めよう。
- ・「表現」の基礎として必要な「考えること」の具体的な方法を身に付け、「自分の意見」をもとう。
- ・「自分の意見」をどのようにして「文章化（表現）」するかなどの、小論文の土台となる「表現法」を知ろう。
- ・多種多様な「表現法」を用いることで「表現の楽しさ」を味わい、将来の進路選択に生かそう。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・授業の取り組みの様子 ・提出課題の提出状況 ・課題プリント
話す・聞く能力	・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取り、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	・授業の取り組みの様子 ・課題プリント ・進路資料室での取り組みの様子
書く能力	・相手に目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	・授業の取り組みの様子 ・課題プリント ・課題の提出
知識・理解	・言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。	・進路資料室での取り組みの様子 ・まとめの（単元）テスト

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期 中間	第1部 表現力を培う 1 書いて伝える	レッスン1 整った文を書く レッスン2 わかりやすい文を書く レッスン3 文のつなぎ方 レッスン4 絵や写真を見て書く	・正確かつ客観的に書くための基本技法を身に付ける。 ・他者の理解や共感を得ることのできる文章力を身に付ける。
	2 小論文・レポート入門 【前期中間考査】	レッスン1 小論文とは何か レッスン2 反論を想定して書く レッスン3 文章を読み取って書く	・小論文とはどのようなものかを理解し、必要な表現技法を身に付ける。
前期 期末	3 自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて レッスン2 効果的な自己PR レッスン3 将来の自分を考えよう	・自分自身を客観的に見つめ、皆の前で自己PRをする力を身に付ける。
	4 メディアを駆使する 【前期期末考査】	レッスン1 通信文を書き分ける レッスン2 ネット社会とコミュニケーション レッスン3 メディアと情報	・通信コミュニケーションを確実にを行うための文章形式や表現力を身に付ける。 ・情報を収集・分析して発表する力を身に付ける。
後期 中間	5 声とコミュニケーション	レッスン1 言葉のストレッチ体操 レッスン2 リーダーシアターを聞く	・合意形成や問題解決を図る討論・ディベート方法を知る。
	6 会話・議論・発表 【後期中間考査】	レッスン1 相手の場面に応じた会話 レッスン2 建設的な議論の進め方	・他者に分かりやすく伝える方法を知る。
後期 期末	第2部 表現を楽しむ 【学年末考査】	1 言葉で学ぶ 2 詩歌を楽しむ 3 パロディー物語を作ろう	・語彙や敬語表現、日本語と外国語などを通して、言葉というものを見つめ直す。 ・感動を効果的に伝える力や豊かな想像力を、実作を通して体験的に身に付ける。そしてその培った視点で、世の中の散文・韻文を客観的にとらえ直す。